

エピローグ

ようこそ先輩！

麻生哲朗さん芸術祭での講演（東中閉校に向かってエピローグの一環、念願叶って東中卒業生のお話を聞くことができました。）



<自らの信念を貫いている先輩は
輝いて見えます>

<講演の終わった後、後輩たちが話しか
けていました>



<自らも手がけたことのある
生徒会広報誌『東風』を懐かし
く見ていらっしやいました>

・麻生さんご苦労様でした。始まる前はちょっぴり不安そうでしたが、さすがですね始まってからすぐに、その場の雰囲気を読みご自身の言葉で話してくれました。

短時間でしたが爽やかで誠実なお人柄にふれることができるとても良かったです。

さすが東中卒業生と思うのは身びいきでしょうか・・・ありがとうございました。